

北里大学病院・北里大学東病院（旧）を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	外斜視患者を対象とした Prism adaptation test の斜視角増加因子を探索する後方視的コホート研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院眼科・視能訓練士 村田佳央理
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	Prism adaptation test (PAT) は斜視手術が過矯正や低矯正で終わることなく、初回手術で良好な眼位矯正を得られるように、術量定量を目的とした最大斜視角を検出する検査です。PAT は最短で 30 分、最長 60 分と時間がかかります。加えて検査中は近くを見る、または長時間の閉瞼をすることなく、常に遠くを見ていなくてはならず、負担もかかります。 眼を真っすぐにも保つこともできるが、外側に外れてしまうこともある間欠性外斜視や常に外側に視線がずれている外斜視では PAT 後は遠近ともに顕著に斜視角が増加する報告や、斜視角が増加した症例は術後成績が良好であるという報告、PAT 施行群と未施行群では術後に差がなかった報告があります。しかし、PAT 後に斜視角が増加する症例と変わらない症例の特徴は明らかになっていません。 患者さんだけでなく我々検査員も負担が大きい PAT が有効な症例の特徴を解明することは患者および検者にとって臨床的意義があるため、今回研究していきます。
調査データ 該当期間	2014 年 1 月 1 日～2021 年 9 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間に当院で PAT 検査を受けた皆さま
研究の方法 (使用する試料等)	2014 年 1 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	利益相反については、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されています。本研究の資金源は学内研究費です。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学病院 眼科外来・視能訓練士 担 当 者： 村田佳央理（ムラタ カオリ） 電 話：0427-78-8429
備 考	